



尾久西だより

荒川区立尾久西小学校

発行日 平成28年5月2日

発行者 校長 末永 寿宣

No. 303 5月号

「夢へのステップ」～実践の時～

校長 末永 寿宣

あるCMに、親子が将来の夢について語り合うという場面があります。その子の夢は、父のような建築家になること。その子が父にも問いかけます。「お父さんの将来の夢は何？」意外な質問に父は「お父さんはもう・・・」と戸惑ってしまいます。が、その父の表情から新しい意欲が湧き上がる様子が伺えるというものです。

新年度がスタートして1ヶ月が経ちました。新しい学年・学級・先生・友達にも慣れてきた頃だと思えます。過日の保護者会、土曜授業日の公開には、保護者・地域の皆様方に多数ご来校・ご参観いただき、ありがとうございました。多くの皆様に本校の教育活動の一端をご覧いただけたことに感謝申し上げます。

今、各教室には、各学年・学級の目標や子供たちの目標（めあて）が掲示されています。この目標（めあて）は将来の夢を実現させるためのステップとなるものです。

夢なき者に 理想なし
理想なき者に 計画なし
計画なき者に 実行なし
実行なき者に 成功なし
故に 夢なき者に 成功なし

この言葉は、幕末の志士 吉田松陰の言葉です。理想とは目標を指し、成功とは成果を指すと考えることができます。

夢の実現のためには、適切な目標（理想）、計画と実行力が必要であり、この地道な積み重ねが成果となり夢の実現へとつながるといえるものです。

物事の中には、「できること」と「できないこと」、そしてもう一つ、可能でもあり不可能でもありそうな「できそうなこと」があります。その、今はできないけれど、できそうなことを目標に設定し、達成のための計画を立て、着実に実行することで成果が期待できます。それは、自らの夢の達成のための地道なステップであると言えるでしょう。

ここで大切なことは、目標・計画はできるだけ具体的なものにすることです。今月はじめの全校朝会で「目標や計画には、数字を入れることが大切です。」という話をします。いつまでに、どのように、どのくらいという数値目標・計画をたてることで、達成状況が明らかになり、現状を把握できるとともに自己評価しやすくなるという内容です。

このことは、私たち大人にも当てはまるのではないのでしょうか。

大人だって夢と目標を持ち続けることが必要です。自らの“輝き”を失わないために、子供の良き手本となるために、是非、共々に実行していきましょう。そして、子供に対しては、目標・計画が適切に立てられているのか、実行できているのか、達成状況がどの程度か、自らの夢へのステップを支援してまいりましょう。

新年度から1ヶ月、これからが実践の時です。